

令和2年11月7日（土）、神戸市中央区において、関西慶應寮和会第17回定例懇談会が開催されました。新型コロナウイルスの影響により、春期開催が中止された本会ですが、今回14名の出席により実施に至りました。

<出席者> 14名（敬称略・部分参加も含む）

増田（S40商） 相本（S41法） 酒井（S42法）
松尾（S47経） 三角（S49工） 青嶋（S52工）
山代（S55法） 松永（S58工） 阪本（S61商）
小堀（S63商） 竹崎（H02法） 井内（H04商）
浄住（H05経） 宮崎（H16経）

I 第1部 電力関連施設の見学（13:30～17:00）

我が国の基幹産業であるエネルギー供給に関して、本会では過去に蹴上発電所（第6回）やあべのハルカスバックヤード（第10回）の見学を行いました。

今回は「電力の安定供給を学ぶ旅」として、灯火具の博物館である「神戸らんぷミュージアム」を見学しました。



神戸らんぷミュージアム



さまざまなあかりの展示



展示物の説明に興味深く聞き入る

新型コロナウイルスの感染予防のため、検温・手指消毒・マスク着用のうえ、出席者を各10名未満の2班に分けて、見学を行いました。

神戸らんぷミュージアムは、昭和63年、旧北野らんぷ博物館よりランプ・灯火具・マッチラベルや文献等コレクション約3,100点を関西電力が継承、うち約1,050点を展示している博物館です。

松明、篝火など原始的なあかりから灯台や行灯、ろうそく、石油ランプ、近代のガス灯、電灯に至るまでの灯火具について、次のとおり歴史系統的に紹介しています。

- ①人とあかりの出会い～②最初のあかり～③あかりをともす知恵～
- ④ろうそくのあかり～⑤文明開化のあかり～⑥あかりの大革命～
- ⑦私たちのまちとあかり

今回詳細については係員の方に案内いただきました。

Ⅱ 第2部 総会・懇親会（17:30～19:30）

続いて、神戸らんぷミュージアム内のミュージアムカフェにて、総会・懇親会が開かれました。

まず、第4回懇談会に出席され昨年12月に逝去された木口先輩（S40年卒）のご冥福をお祈りし黙祷を捧げた後に、阪本事務局長より、中間事業・中間会計の報告と、本部会費納入の依頼があり、その後懇親会に移りました。

こちらでもマスク着用での塾歌斉唱、個々に分けられた料理と、新型コロナウイルスの感染予防に配慮しながら、相本さんの挨拶から出席者のリレー近況報告と、楽しい宴席となりました。

Ⅲ 編集後記

新型コロナウイルスが未だ収束に向かう気配がない中、今回久々に懇談会を開催できたのは、ひとえに皆さまのおかげです。誠にありがとうございました。

世の中がどのような苦境にあっても、関西慶應寮和会の集まりにおいて、皆さまが生涯の学びを重ね、塾や社会に向かって良識を発信していけるよう、開催に努めてまいります。

今後も楽しく有意義な活動を続けていく所存ですので、皆さまよろしく願います。



防災上点灯できない展示物もあるとか



懇親会にて集合写真

以上